



西湘地域連合ニュース

日本労働組合総連合会神奈川県連合会西湘地域連合
連絡事務所：平塚市宮松町6-10チサカビル2F

西湘地域連合機関紙 2022年8月16日
発行人：大藪克己 編集責任：諸星尚文

ピースウィーク 映画と語り

7月27日の伊勢原を皮切りに中地区教育研究所が「守りたいね、みんなのピース 親と子で考える平和学習 映画と語り」を西湘地域連合管内の平塚、秦野、二宮の4箇所で開催致しました。地域連合もピースウィーク行動として受付で団扇を配布させていただきました。

語りは戦時下で小学校の授業後の勤労奉仕や空襲を避けるための灯火管制、食料は戦地最優先のため国内では米がほとんど無かった事。食料を確保するためにはじめは校庭の一部でさつまいもを栽培していたが、終戦間際には校庭一面が芋畑になった。二宮会場では二宮駅南口のガラスのうさぎ像が建つきっかけとなった機銃掃射の悲劇や駅舎に残る弾痕の話がされました。伊勢原会場では鈴川に爆撃機内に残っていた爆弾が落とされ、疎開していた生徒が犠牲になったことや、平塚会場では渋谷千鶴子さんの平塚空襲の体験をもとに作られた「おもいでなのつ」の朗読劇が上演されました。

朗読劇では7月16日夜に空襲警報が発令されB29爆撃機が133機来襲し、412、961本もの焼夷弾が投下され35、336名が焼け出され、237名が亡くなったと報告されました。

この当時平塚には4つの大きな軍需工場がありそこが標的にされたと思われませんが、実際には工場よりも、市民の居住地に多大な被害を受けました。

※ 爆撃機は爆弾が機内に残っていると着陸の衝撃で爆発する可能性があるため、着陸前に爆弾を捨てて機内を空っぽにする必要がある。

